

Rotary District 2620 よいこのため手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレッソオ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会: 毎週金曜日
会場: 小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL: 054-641-3321

2025-26 年度
会長: 鈴木寿幸 副会長: 桑原 茂 幹事: 加藤智之 副幹事: 杉浦 聰

事務局: 藤枝商工会議所内
TEL: 054-646-3919 FAX: 054-643-2000
E-mail: jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

例会 第1616回 通常例会/小杉苑

ソング: 君が代、奉仕の理想 ソングリーダー: 鷺坂和也君

会長挨拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。11月は、「ロータリー財団月間」ですので、ロータリー財団について、お話をさせていただきます。ロータリー財団は、1917年今から108年前に、アーチ C・クランプ国際ロータリー会長が、「世界でよいことをするために」基金の設置を提案したことに始まり。1983年(42年前)に米国イリノイ州法の下に非営利財団法人となりました。

日本では、「公益財団法人ロータリー日本財団」が国内唯一の協力財団となっており、みなさまからの支援により、行った活動には、「こども食堂の支援」芸術分野での留学のための奨学金の提供、福祉施設への支援、青少年育成プログラム、地域の環境整備や美化活動などさまざまなものがあります。

さらに、途上国での水と衛生状況の改善、医療機関への機器や研修の提供、酪農や農業などの収入を増加させるための支援、成人や女児の識字率の向上、平和構築や紛争解決に向けた支援などの

活動にも協力をしています。

「平和の推進」は、紛争の予防・仲裁や難民支援にあたる人財を育て、異文化間の交流と対話をそくすことで、平和な世界づくりを目指しています。

「疾病との闘い」は命を脅かす病気(ポリオ、エイズ、マラリアなど)について正しい知識を伝え、発展途上国で低額または無料の医療を提供するなどをして、病気の予防と治療を支援しています。

「水と衛生」では、「ただ井戸を掘って終わり」ではなく、安全な水や衛生設備を活用して長期的な地域発展が実現できるよう、包括的な支援を行っています。

「母子の健康」は、世界では毎年、5歳未満のこども600万人近くが、栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。ロータリーは、質の高い医療によって母と子の健康を守っています。

「教育の支援」は世界で読み書きのできない15歳以上の人々は、世界人口の約1割、7億7500万人。ロータリーは良い学校をつくり、教育における性差別をなくし、成人への識字教育に力を注いでいます。

ロータリー活動によって、「今まで知らなかつたことを知る機会」をえましたので、もう少し広い視野を持って、今、私たちができるロータリー活動を藤枝南クラブの皆さんと研究し、ロータリーの活動を通じてより良い世界を築くために活動したいと感じております。最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

出席報告

杉山茂範君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
42/48 87.5%	43/48 89.58%

(1)欠席者 (事前連絡とメークアップをどうぞ)

○江崎君○川口君○富澤賢君○中山君

○望月君○山田幸君

(1)メークアップ者

漆畠雄一郎君(IM) 鈴木健夫君(地区)

竹田敏和君(地区) 富澤賢一君(地区)

渡邊芳隆君(IM)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	45	0	8

パーフェクト例会数: 😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

スマイルBOX

杉山茂範君

・誕生日、結婚祝いのプレゼントありがとうございます。67歳になります。11月10日当日はZoomでロータリーの会議の予定です。ロータリー活動を楽しんでます。 鈴木寿幸君

・11月3日の文化の日に藤枝市表彰を頂きました。クラブの皆さんのご指導のお陰で頂く事が出来ました。ありがとうございました。これからも少しでもお返しできる様、努力してまいりますので変わらぬご指導をよろしくお願い致します。ありがとうございました。

山田壽久君

・結婚記念日のお祝いありがとうございます。40年経ちました。藤枝市表彰をしていただきました。皆さんのおかげです。稻葉俊英君

・誕生日プレゼント有難うございます。23日で79歳になります。齢をとっても気持ちは青年のままでいたいものです。 伊藤恒夫君

・11/3の結婚記念日、11/8の妻の誕生日プレゼントありがとうございます。 飯田敏之君

・誕生日、妻誕生日、結婚記念日のお祝いありがとうございました。57歳になりました。

鈴木健夫君

・結婚記念日のプレゼントありがとうございます。 中山恵喜君

・妻の誕生日プレゼントありがとうございます。永く仲良く続けるようにします。佐野博己君

スマイル累計額 510,602円

会員卓話

クラブラーニングファシリテーター

早川清人君



RLIプログラム
のご案内

2018-19 年度
R I 2620 地区
大会第 1 日目において、「地区指導者育成セミナー」が企画されました。

これが、地区内のロータリークラブに初めて紹介された時でした。このときの「地区指導者育成セミナー」では、RLI の説明とその実施に向けた案内が、R I 第 2770 地区の井原實パストガバナーより述べされました。そして、既に日本の各地区単位で活発に活動が展開されているとのことです。

RLI (Rotary Leadership Institute) とは、ロータリー・リーダーシップ研究会のことであり、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための多地区合同プログラムとしてロータリーにおける最大の草の根活動のことです。現在、世界の 80%以上の地区が参加しています。

このRLIは組織化されていて、活動拠点となる本部は米国ニュージャージー州に置かれ、初代委員長には、元 RI 理事で本プログラムの発案者でもあるデビット・ライネット (David Linet) 氏が就いておりました。

また、日本国内においても RLI 日本事務局が設置されており、RI 日本支部委員長に 2026-27 年度 2840 地区がバナーであった群馬県の本田博己氏 (太田中央 RC) が務めています。

RLI の使命は、将来、クラブのリーダーシップを進めることが出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランタリー組織にとって重要なリーダーシップ技能

と質の高い教育を提供することを目指すものとなっています。

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動するためには、ロータリアン一人一人がロータリーを深く理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。つまり、RLIの目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することなのです。

このRLIプログラムは、ディスカッション方式で実施される参加型の研修カリキュラムで構成され、段階的にテーマを設定して討論が展開されます。その際の進行は、参加者の発言を促し話の流れをまとめれる誘導役たるファシリテーターを中心に行われます。そのセミナーは、「リーダーシップ」「奉仕」「会員組織の強化」という3つの基本軸を中心に3段階でのカリキュラムが組まれていて、パート1は「ロータリアンとしての私」、パート2は「私たちのクラブ」、パート3は「私のロータリーの旅」を基本的テーマとして設け、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目指すこととなります。

当クラブにおいては、2026-27年度地区RLI副委員長に竹田敏和さん、地区ファシリテーターに望月誠さんが就任予定です。

尚、当クラブでRLIプログラムカリキュラムの三つのパートを受講した方々は17名で、パート1、パート2までの方が2名います。そして、卒後コースまで受講されたのが、ガバナーエレクト若林秀典さん、竹田敏和さん、望月誠さんの3名と聞いております。

世話クラブカウンセラー

森竹正晃君

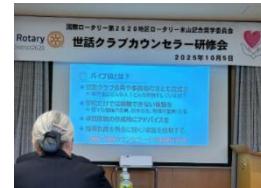


会の報告をいたします

2025年
10月5日
に行われた、
米山記念奨
学委員会に
よる世話ク
ラブカウン
セラー研修



ここで重要な内容として、他の奨学金団体では、ほとんどありませんがロータリーの奨学金制度には、世話クラブ・カウンセラー制度があり奨学生と深い交流を重視しています。

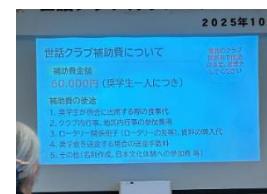


ここでは、カウンセラーの役割は何かという内容です。カウンセラーの役割は、世話クラブと奨学生のパイプ役という役割です



ここで最も重要な内容は、奨学生レポート提出です。9月と2月のレポート提出が無い場合には、奨学金の支払いが止まります。特に9月のレポートの提出を怠りますと、9月以降の奨学金支払いが止まってしまいます。

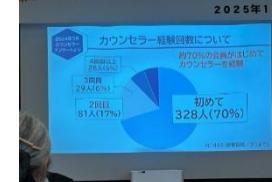
奨学金の額に付きましては、大学卒業は10万円、大学院卒業は14万円となっております



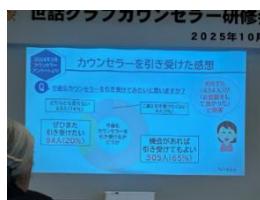
ここでは、奨学生1名に対し、6万円の補助が地区から頂けます。使い道の用途は資料の通りです。皆様に身近な所では、例会出席での食事代、ロータリーの友の冊子購入費です

出来れば、来期から、米山記念奨学に対するクラブ内事業化の検討を頂きたいです

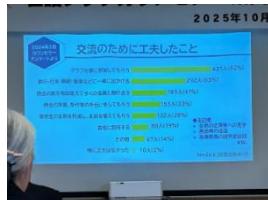
藤枝ロータリークラブでは、本件、事業化になっています。



ここでは、カウンセラーの経験回数のアンケートです。初めて70%、2回目17%です



カウンセラーを引き受けた後の感想ですが、機会があれば引き受けたいが 65 %、また引き受けたい 20 %、二度と引き受けたくない 1 % です



カウンセラーが奨学生との交流の為に工夫したこと、クラブの行事に参加92%、食事などは63%、例会時に席を変えながら触れ合うが41%です。本年度は、例会時に席を変えながら触れ合うを中心活動しています



奨学生からの相談内容ですが、卓話について52%、就職について43%、例会について38%です。今年の10月3日に奨学生卓話30分を行いました。資料は大変に良く出来ておりましたので、卓話30分間における時間配分についてアドバイスをいたしました。奨学生からの相談内容ですが、

1 就職時の面接官の質問で

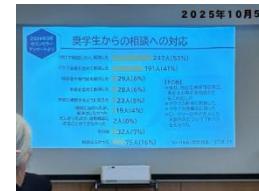
「東京エレクトロンでマーケティングをした内容が、お客様にとってどの様に得られ、どの様に期待されるか、という質問でした」

面接の時に、聞かれたのですが、どの様に、お答えしたら良いでしょうか。カウンセラーでしたら、どの様のお答えしますかと聞かれました

「半導体製造機械メーカーである、東京エレクトロンが得た最先端なマーケティング情報、市場調査などの情報を、説明お伝えする事で、お客様が最先端の成果を得られる様に、情報が期待されれば良いと思います」

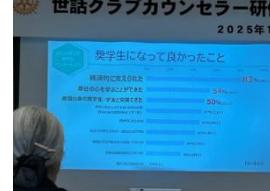
2 先輩学友会について

先輩学友会の方で、ひつこく インスタメールを下さる男性の方が居るのでどの様にしたら良いか、教えてほしい。その方の、インスタを即時ブロックしなさいと 言いました



ここでは、1対1での相談受けが53%、クラブ会員を含めて41%です

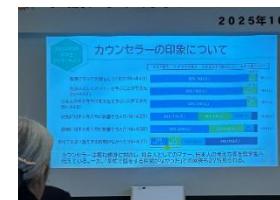
今年は、内容によって、奨学生と1対1で相談を受けております



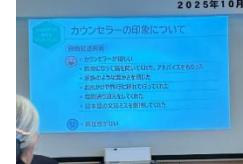
経済的に支えられた83%,奉仕の心が学べた54%、学友との交流が出来た50%です



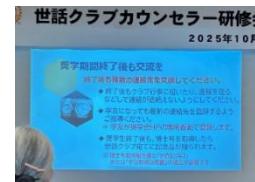
話を聞いて、アドバイスして欲しかった 51%、
話を聞いてくれるだけで良かった 21% です



ここでは、親身になって世話をしてくれた92%、社会人としてのマナー86%、日本の文化90%でした



カウンセラー印象については、カウンセラーが優しい、親身になって話を聞いてくれた等の、自由記述回答でした。マイナス面は、責任感がない、でした。



10月5日ノセミナーの時に、稻葉ガバナーから、
奨学生期間終了後も、連絡を取り合ってほしい。
数年経ちましたら、例会で卓話を、近況報告として
行ってほしいとのお話を、2度ほど話を伺いました。

以上、米山記念奨学委員会による、世話クラブカウンセラー研修会の報告を終わります。ありがとうございました。

今週の一言

桑原茂君



好きな言葉、いくつかありますが今回はその中でも私が一番大切にしている言葉をお伝えしたいと思います。
ご存じの方が多いと思いますが、私は32歳の時に脳幹梗塞という大病をしました。この病気を発症した半分の人は即死、残りの半分も重度の障がいを持つ、そして、たまにあなたみたいな人がいる・・・まあ簡単に言えば死に損ねたわけです。

ただその時から私の人生観が大きく変わりました。

そんな時に私が思った言葉です。

『今を大切に、今を一生懸命に生きる・・・』

なんで自分だけがこんな病気にかかったのだと過去を悔やんでもしようがない・・・

そして、また再発して俺はいつ死ぬのだと未来を嘆いてもしょうがない・・・

だったら・・・

過去でもなく、未来でもなく、

今という今日一日を大切にして、そして、今日一日を一生懸命に生きていくことが、自分にとっては大切なではないかと・・・

そして、今を積み重ねていくことが、自分の未来へと必ず繋がっていくのだと思いながら生きていこうと思うようになりました・・・

『今を大切に、今を一生懸命に生きる・・・』

私の好きな言葉です。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
11/14(金) 第 1617 回	移動例会	アジカン音楽 スタジオ
11/21(金) 第 1618 回	会員卓話	小杉苑
12/5(金) 第 1619 回	クラブ年次総会	理事会
12/12(金) 第 1620 回	ガバナー補佐訪問	小杉苑

地区役員委嘱状



米山記念奨学生 面接官委嘱状



藤枝市表彰



おめでとうございます！



(担当/秋谷貴也君)

ハンガリーに来て2か月がたちました。ハンガリーでの生活にもだいぶ慣れ、とても充実した1か月を過ごしました。クラスにも馴染んできて、特に仲の良い男子が2人います。年齢に関係なく多くの友達ができ、廊下ですれ違うたびに声をかけてくれるのがうれしいです。10月23日から11月2日までは秋休みで、10月23日はハンガリーがソビエトに対して起こした革命を記念する国民の祝日でした。

現在は、週に4~5時間ほどマンツーマンでハンガリー語の授業を受けています。学校が用意してくれた教科書を使い、先生や生徒が交代で教えてくれます。また、僕の学校では第2外国語としてドイツ語かスペイン語を選ぶ必要があり、僕はスペイン語を学んでいます。ですが、頭の中でいろいろな言語が混ざってしまい、授業についていくのが大変です。

10月10日には、日本語を専攻している学校を訪問しました。9年生と13年生のクラスを見学し、特に13年生はとても流暢に日本語を話していました。教室の壁には日本地図や書道作品、浮世絵などが飾られていて、日本文化への関心の高さを感じました。ここでも友達ができ、休日に一緒に遊ぶこともあります。日本人の先生もいらっしゃり、久しぶりに日本語で会話できたことが本当にうれしかったです。

ロータリーのカウンセラーの方とはとても良い関係を築けています。10月10日には彼の好きなバンドのコンサートに誘っていただき、昼食をご一緒することもありました。10月23日にはロータリーのハイキングに参加し、他の留学生たちと秋の自然を満喫しました。その後、国会議事堂を見学し、ライトアップされた建物の美しさに感動しました。

10月25日には「Mondocon」という日本文化のイベントに友達と参加しました。会場にはたくさんのコスプレイヤーやアニメグッズの店があり、日本のアニメや音楽が大好きな人がこんなにもいることに驚きました。そこで久しぶりにカッ普ラーメンを食べ、日本の味を懐かしく感じました。

10月29日には、アメリカからの留学生のホストに招かれ、東ハンガリーのデブレツェンという町を訪れました。ブダペストよりも落ち着いた雰囲気の町で、ブラジルやメキシコからの留学生とも交流し、とても楽しい時間を過ごしました。

10月31日には隣村のTelkiでハロウィーンを楽しみました。ハンガリーでは比較的新しい文化で、パンプキンを作ったりお菓子をもらったりして歩くのが新鮮でした。

この1か月で少しトラブルもありました。日本的な「空気を読む」文化のせいで自分の気持ちを伝えきれず、「家族の一員になるつもりがない」と言われてしまいました。それ以来、自分から話しかけるようにし、感情を共有するように心がけた結果、今はとても良い関係に戻っています。ハンガリーでは、嬉しかったことや嫌だったことを率直に伝えるのが大切だと学びました。

サッカーは週4回練習していて、仲の良い友達も増えました。練習後に買い物へ行くこともあります、スポーツを通じて人とのつながりを感じています。公式戦への出場は6か月の待機期間があるためまだですが、学校の大会には参加しています

ハンガリーのスーパーで売られているお肉は本当においしく、食生活にもすっかり慣れました。ホストが炊飯器を買ってくれたおかげで、お米もおいしく食べられています。ただ、日本食レストランの味はあまり本物に近くありません。

【言語と勉強】ハンガリー語の文法は少し理解できてきましたが、語彙力が大きな課題です。1つの動詞が30通り以上に変化するため、覚えることが山ほどあります。最近は子ども向けアニメを見て、自然な言い回しを学ぶようにしています。また、英語に関して悩んでいます。ハンガリーに来てから日本語で考えることが減り、英語が少しぎこちなくなってしまいました。英語を「イメージで考える」練習を意識し、本や動画で耳を慣らしています。IELTS受験について学校の先生に相談したところ、4技能の学習法についてアドバイスをもらいました。次の1か月では、これまで英語で話していた場面をできるだけハンガリー語に切り替え、挑戦していきたいです。英語ではIELTS対策を進め、特にリスニングではBBCなどを使ってイギリス英語に慣れる練習をします。そして、毎日「自分が楽しめる選択」を意識して過ごしていきたいです。